

OSAKA ECOSYSTEM EXPO

大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、大阪産業局、大阪産業技術研究所、池田泉州銀行、関西イノベーションネットワーク2号投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25Next、無限責任組員：池田泉州キャピタル）は、この度、イノベーションファンド25Nextを通じた連携に関する協定を締結いたしました。これに伴い、本協定の報告会を兼ねたキックオフイベントを2023年7月25日に開催いたしました。

2025年大阪・関西万博を契機としたイノベーション・エコシステムの活性化に向けて、産学官から多くの皆様にご参加いただきました。

日時：2023年 7月25日（火） 15:30-18:15

会場：大阪産業創造館 4 F イベントホール 大阪市中央区本町1-4-5 / オンライン併用

連携報告

15:30～15:50

開会挨拶 池田泉州銀行 代表取締役頭取兼CEO 鶴川 淳

連携機関 大阪府 商工労働部長 馬場 広由己 氏 / 大阪市 経済戦略局長 岡本 圭司 氏
ご挨拶 堺市 産業振興局長 奈良 和典 氏 / 大阪商工会議所 常務理事 近藤 博宣 氏
大阪産業局 専務理事 角谷 禎和 氏 / 大阪産業技術研究所 理事 小野 大助 氏

特別講演

15:50～16:40

渋谷 順 氏

株式会社スマートバリュー
取締役兼代表執行役社長

「ベンチャーマインドと地域活性化」



東 博暢 氏

株式会社日本総合研究所 プリンシパル
2025年日本国際博覧会
大阪ヘルスケアバビリオン スーパーバイザー

「大阪・関西のイノベーション・エコシステムへの期待」

イノベーションピッチ

16:55～18:15

OSAKAを熱くする
スタートアップによる
プレゼンテーション

モデレータ：吉川 正晃 氏
(株式会社Human Hub Japan 代表)



【記念撮影】

主催

大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局
地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行、池田泉州キャピタル株式会社

後援

近畿経済産業局、近畿総合通信局、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会
関西イノベーションイニシアティブ（KSII）、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）
大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム



連携目的

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を契機として、イノベーション・エコシステムの活性化を図り、「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」を目指すことを目的とする。

連携事項

1. 情報発信・啓発のためのセミナー開催等
2. 産業支援機関等とのネットワークを活かした支援
3. 技術提携、資金支援、実証フィールドの提供など、広く支援者を呼び込むことを通じた、社会実装へ向けた成長支援
4. 支援ノウハウの情報交換

愛称	イノベーションファンド25Next
設立日	2023年5月30日
有限責任組合員 (順次、追加出資を募集)	岩谷ベンチャーキャピタル合同会社、大阪信用保証協会、関西テレビ放送株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社ダスキン、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ユニオン、株式会社読売新聞大阪本社、ロート製薬株式会社、株式会社池田泉州銀行
無限責任組合員	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業

■ イノベーションピッチ 登壇企業

株式会社エイトノット



代表取締役CEO 木村 裕人 氏

エイトノットのミッションは「あらゆる水上モビリティを自律化し海に道をつくる」ことです。ロボティクスとAIの専門家集団として、小型船舶向け自律航行技術開発を中心に「海のDX」と「船舶のロボット化」を推進します。陸上を移動するのと同じくらい手軽に水上を移動できる手段をつくり、人と海との関わり深めることで、海を基点とした新しい経済圏や周辺ビジネスを巻き込んだエコシステムの構築を目指します。



株式会社EX-Fusion



共同創設者兼CEO 松尾 一輝 氏

核融合は「地上の太陽」「夢のエネルギー」とも呼ばれる次世代のエネルギー技術です。私たちEX-Fusionはレーザー核融合エネルギーの実用化に必要な技術開発を加速します。さらに、レーザー核融合商用炉実現を目指す過程で得られる最先端の光制御技術・知見等を活用し、エネルギー分野にとどまらず、様々な産業分野の技術開発に貢献していきます。

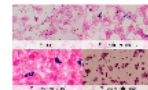


株式会社GramEye



共同創業者 取締役 山田 達也 氏

抗菌薬の誤用や乱用の為に薬が効かない細菌「薬剤耐性菌」が世界中で増えています。GramEyeは、薬剤耐性菌という喫緊の社会課題に問題意識を持つ大阪大学の医師と医学部生が立ち上げた会社です。適切な抗菌薬を選ぶために行う感染症検査「グラム染色」をAI・ロボティクスソリューションでアップデートし、世界中の医療現場で抗菌薬が適切に処方される世界を目指します。



株式会社PITTAN



代表取締役CEO 辻本 和也 氏

PITTANは極微量汗中生体分子分析により、人々の健康美に必要なコンディションを見える化するサービスを提供します。「いつも“らしく”いきるために」不足成分の見える化やプロフィールの裏に隠れた原因を推定することで、日々の行動変容やプロダクト選定をサポートし、信頼できるアドバイザーのような存在を目指します。

How it Works



メトロウェザー株式会社



代表取締役CEO 古本 淳一 氏

京都大学発スタートアップであるメトロウェザーは、目には見えない大気の流れをリアルタイムに可視化するドップラー・ライダーを開発・製造しています。ドローンが私たちの日常で当たり前となる社会が着実に迫る中、小型ドップラーライダーにより時々刻々と変化する空の風況を立体的に把握し、リアルタイムに可視化することで「空の安全」を守ります。



「関西イノベーションネットワーク2号投資事業有限責任組合」を通じた連携に関する協定書

大阪府（以下「甲」という。）、大阪市（以下「乙」という。）、堺市（以下「丙」という。）、大阪商工会議所（以下「丁」という。）、公益財団法人大阪産業局（以下「戊」という。）、地方独立行政法人大阪産業技術研究所（以下「己」という。）、株式会社池田泉州銀行（以下「庚」という。）、及び「関西イノベーションネットワーク2号投資事業有限責任組合」（以下「イノベーションファンド25Next」という。）無限責任組合員 池田泉州キャピタル株式会社（以下「辛」という。）は、「イノベーションファンド25Next」を通じた連携に関して、次の通り協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛が相互に連携することにより、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を契機として、イノベーション・エコシステムの活性化を図り、「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」を目指すことを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、本協定の目的を達成するために、次の各号について連携及び協力して取り組むものとする。

- 情報発信・啓発のためのセミナー開催等
- 産業支援機関等とのネットワークを活かした支援
- 技術提携、資金支援、実証フィールドの提供など、広く支援者を呼び込むことを通じた、社会実装へ向けた成長支援
- イノベーションファンド25Nextに関する支援ノウハウの情報交換
- 本協定の目的を達成するための定期的な協議
- その他、第1条の目的に資するものとして甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛の全ての同意により必要と認められる事業

2 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、他のファンド等との本協定に類似する連携について、本協定が本協定の相手方以外とそれぞれ別に連携することを妨げるものではないことを確認する。

（守秘義務等）

第3条 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、既に公知となっている情報及び法令に定めのある場合を除き、連携事項を実施するために知り得た情報を、相手方の事前の承諾なく第三者に開示・漏洩し又は本協定の目的以外の目的で利用してはならない。

2 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、本協定が第6条に定める有効期間の満了若しくは解約により効力を失った日から3年間は前項による秘密保持の義務を負い、秘密情報として取り扱うものとする。

（個人情報等の取扱い）

第4条 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）その他個人情報の保護に関する各種法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱うものとする。

2 法人の情報については、前項の個人情報に準じて、適正に取り扱うものとする。

（協定内容の変更）

第5条 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛のいずれかが協定書の内容について変更を申し出た場合は、その都度協議の上、必要があれば変更を行うものとする。

（有効期間）

第6条 本協定の有効期間は、締結日より1年間とする。ただし、期間満了の1か月前までに、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛のいずれからも書面による申し出がなければ、1年間更新するものとし、その後も同様とする。ただし、「イノベーションファンド25Next」の存続期間満了又は解散があった場合は、その日をもって終了する。

2 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛のいずれかが本協定の解約を申し出る場合、解約予定日の1か月前までに書面によって相手方に通知することにより、この協定を解約できるものとする。

（反社会的勢力への基本的対応）

第7条 甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は、「イノベーションファンド25Next」に対する反社会的勢力の関わりを防ぐため、連携して取り組んだ企業等について、反社会的勢力に係る情報を入手した場合には、可能な範囲で相互に情報を共有し、辛は、早期の関係解消に向けて協議するものとする。

（事業に関する責任）

第8条 「イノベーションファンド25Next」の事業に関わる全ての責任は、辛が負うものとする。

（疑義の決定）

第9条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関して疑義等が生じたときは、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛は誠意をもって協議し、これを取り決めるものとする。

本協定の成立を証するため、本書8通を作成し、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、及び辛がそれぞれ記名押印の上、各自1通を保有するものとする。

2023年5月30日

（甲）大阪府

大阪府知事 吉村 洋文



（乙）大阪市

大阪市長 横山 英幸



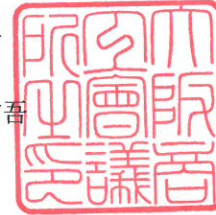
（丙）堺市

堺市長 永藤 英機



（丁）大阪市中央区本町橋2番8号

大阪商工会議所



会頭 鳥井 信吾

（戊）大阪市中央区本町橋2番5号

公益財団法人大阪産業局



理事長 立野 純三

（己）和泉市あゆみ野2丁目7番1号

地方独立行政法人大阪産業技術研究所



理事長 小林 哲彦

（庚）大阪市北区茶屋町18番14号

株式会社池田泉州銀行



代表取締役頭取兼 CEO 鶴川 淳

（辛）大阪市北区茶屋町18番14号

関西イノベーションネットワーク2号投資事業有限責任組合
無限責任組合員

池田泉州キャピタル株式会社



代表取締役 田中 耕